



成績書

15産技技評資第285号

依頼者	住所	東京都西東京市住吉町4-2-1		
	会社名 又は氏名	株式会社シンプル東京		
依頼品	品名	塗料	数量	1
	定格は 又仕様	スーパー・テラ	製造者 番号	
依頼事項	製品の防かび試験			

平成15年10月24日付けで依頼を受けた上記の試験、測定、分析の成績は、下記のとおりである。

平成 15年 12月 1 日

東京都立産業技術研究所長



記

1. 試験方法 JIS Z 2911塗料の試験に準じた方法による。

- 使用した菌(かび)
1. アスペルギルス・ニゲル JIS Z 2911 第1群の(b)
 2. ペニシリウム・フニコロスム JIS Z 2911 第2群の(b)
 3. クラドスポリウム・クラドスポリオイデス JIS Z 2911の第4群の(a)
 4. オーレオパシジウム・プルランス JIS Z 2911の第4群の(b)
 5. グリオクラジウム・ピレンス JIS Z 2911の第4群の(c)

使用した培地

ペプトン10g、ぶどう糖40g、寒天25.0g、精製水1000mlの割合で調製した。

プラスチック製シャーレに上記の培地を一定量分注して平板培地を作製した。

試料の塗装板を上記の平板培地の上に置いた。

上記の5種類の菌それぞれについて、斜面培養基から白金耳により胞子を一定量採取し、スルホコハク酸ジ
オクチルナトリウムの50ppmの水溶液に懸濁させて胞子懸濁液を調製した。

5種類の胞子懸濁液を合わせて混合胞子懸濁液とした。この液を塗装板および培地表面に一定量噴霧し、培
養した。

培養条件 温度28±2℃、相対湿度95%以上、期間28日

2. 試験結果

試料名	表示			
	7日	14日	21日	28日
塗料				
スーパー・テラ	0	0	0	0

注) 表示0; 試験片表面にかびの発生は認められなかった。

- 1; 試験片表面に発生したかびは表面積の10%未満であった。
- 2; 試験片表面に発生したかびは表面積の10~30%であった。
- 3; 試験片表面に発生したかびは表面積の30~60%であった。
- 4; 試験片表面に発生したかびは表面積の70~100%であった。

次頁へ続く。

本成績書の内容を広告物その他に掲載しようとするときは、予め東京都立産業技術研究所長の承認を受けて下さい。

対比試験 14日間培養した結果充分なかびの繁殖を確認した。
なお、試料名は依頼者が依頼書の品名および定格又は仕様欄に記載した内容をそのまま成績書に記載した。
また、上記の試験は、依頼者より持ち込まれた試料について行った。

以 上